



消防千葉

2023 No.598 令和5年9月号

目次

巻頭言（匝瑳市横芝光町消防組合消防本部消防長）	2
第25回全国女性消防操法大会に向けて	3
第59回市町村消防長・消防団長会議	4・5
第51回全国消防救助技術大会	6・7
令和5年度「防火・防災ポスター展」表彰式	8～10
わが町の消防団（鴨川市消防団）	11
わが町の消防団（香取広域市町村圏事務組合東庄町消防団）	12
東西南北	13
日々の動き	14



久留里城（君津市）君津支部

巻 頭 言

「消防団と常備消防の連携強化」

匝瑳市横芝光町消防組合消防本部 消防長 土屋 修



匝瑳市横芝光町消防組合は匝瑳市と横芝光町で構成され、千葉県北東部に位置し東に旭市、北に香取市や多古町、西は山武市や芝山町に接しております。管内の北部は緩やかな丘陵が続き、南部は白砂青松の九十九里浜まで平坦な地形が広がる自然豊かな地域であります。

地域における消防組織としては匝瑳市消防団12分団631名、横芝光町消防団8分団381名に当組合の1本部、2署、1分署、消防職員107名で組織され、有事の際は協力し、地域住民の安全安心のために活動を行っているところです。

令和5年7月22日に第59回千葉県消防操法大会が千葉県消防学校で開催され、当消防組合管内から、ポンプ車操法の部で匝瑳市の中央分団第4部、小型ポンプ操法の部では横芝光町の第6分団第1部、匝瑳市からは豊和分団第2部が各支部大会を経て支部代表として出場を果たしました。当組合は構成市町の関係上、海匝支部大会と山武支部大会の両方に関連していることから、管内から3チームの出場となりました。

各消防団の県大会出場時における上位の成績を振り返りますと、匝瑳市は平成29年7月22日に開催された第53回大会のポンプ車操法の部で努力賞（第4位）を受賞、横芝光町は令和元年7月27日に開催された第55回大会の小型ポンプ操法の部で優秀賞（第2位）を受賞しており、各消防団が最優秀賞（第1位）を目指す中で、今回、匝瑳市消防団がポンプ車操法の部で見事に最優秀賞に輝きました。

匝瑳市消防団にとっても当組合としても念願であった、最優秀賞の受賞は匝瑳市消防団の歴史に新たな1ページを刻んだものであり、長期にわたり出場団員の訓練を支援された秋山忠史団長を始めとする消防団関係者、そして訓練指導にあたった当組合職員にとっても、心に残る大会となり消防団と常備消防の絆をより強固なものとするきっかけとなったように感じます。

全国的に多発している大雨による広域的な自然災害、突発的に発生する地震災害等が、当地域を襲った場合、常備消防だけでは十分な対応ができない状況に陥ることもあろうかと思えます。そのような時、地域住民が最も頼りにするのが、地域に密着した消防団の存在であり、地域の実情を的確に把握している消防団の方々の力強い活動が、地域住民の安全安心に繋がるものと思えます。

消防操法訓練を通じ深まった各消防団関係者と当組合職員の絆を大切に、そして今後も育みながら、地域住民の安心安全に向けての各種取り組みを更に推進し、消防団と常備消防で一層の連携強化が図れるよう業務に努めてまいります。

第25回 全国女性消防操法大会に向けて

館山市消防団

令和5年10月21日（土）に東京臨海広域防災公園で開催される第25回全国女性消防操法大会に「館山市女性消防隊」が千葉県代表として出場することとなりました。

館山市消防団女性分団は平成30年度に発足し、現在分団長以下19名で構成され、災害時に避難所での支援活動を円滑に行うための各種訓練、火災予防や防災に関する啓発活動、消防団の活動PRなどを行い、地域防災力強化の一助となるための活動を積極的に行っています。

女性分団発足後、1年半ほどで令和元年房総半島台風に見舞われ、館山市も甚大な被害を受けました。女性分団の団員も当時は活動歴が浅く、ノウハウが構築されていない中でも、地域の皆様の一日も早い復興に向けて、女性分団でチーム一丸となり、力を合わせて復興支援活動に取り組みました。

全国女性消防操法大会は初出場となりますが、令和元年の台風災害時に培った団結力を活かし、全国大会出場に向け応援してくれる方々や地域の皆様に恩返しができるよう訓練に全力で取り組み、また、全国大会での経験や大会に向けた訓練が、今後の女性分団の活動に活かせるよう努力を重ねてまいりますので、皆様の応援をお願いいたします。



第59回市町村消防長・消防団長会議の開催

8月18日(金)、第59回市町村消防長・消防団長会議が、市原市市民会館大ホールで、県下市町村から消防(局)長と消防団長等約150名の出席により開催されました。

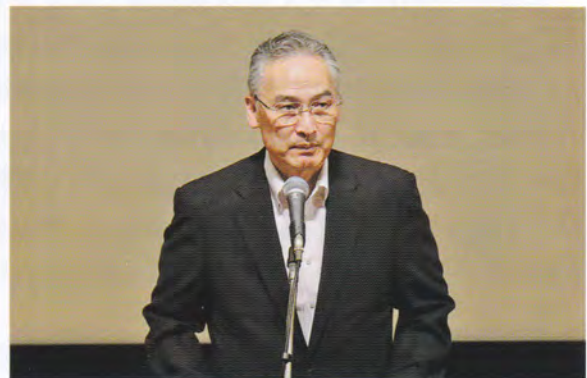
会議冒頭、来賓(穴澤千葉県副知事、下重日本消防協会業務部長、室田千葉県消防課長、大石千葉県消防学校長)並びに主催者(石橋消防協会会長、白井副会長、芝岸副会長、安達副会長、吉野副会長、佐藤副会長)の紹介がされ、引き続き、昨年の消防長・消防団長会議以降、新しく就任された消防(局)長・消防団長24名の紹介が行われました。その後、芝岸消防協会副会長の開会の言葉、石橋消防協会会長の主催者挨拶に続き、穴澤副知事及び日本消防協会長(代理 下重業務部長)の来賓祝辞がなされました。



石橋消防協会会長



穴澤千葉県副知事



下重日本消防協会業務部長

議事は、石橋協会会長が議長となり進行され、最初に、室田消防課長から防災危機管理部各課の連絡事項や主な行事实施等の説明、大石消防学校長からは令和5年度の消防職員及び消防団員に係る訓練実施計画の説明、下重日本消防協会業務部長からは、今後の全国大会等の開催計画や消防団員確保対策に関する動向等の説明がされました。



大石消防学校長



伊藤消防協会専務理事

最後に、伊藤消防協会専務理事から消防協会の令和5年度の事業計画及び主要行事等の説明がされ、議事は終了しました。



続いて行われた講演会では、初めに千葉県防災危機管理部消防課長の室田泰彦氏から「消防団活性化に向けた本県の取組について」と題する講演が行われました。消防団員数の減少が本県も含め全国的に大きな課題となっているなかで、女性消防団員や学生消防団員数は増加傾向にあることを踏まえ、女性や学生に対する加入促進事業など県の取組について説明が行われ、最後に、今後の消防団の活性化に向けた千葉県の取組の参考にするために実施している「消防団活動に関するアンケート」への協力のお願いがされました。



室田消防課長

次に、千葉県消防協会副会長（市川市消防団長）の安達博氏から「消防団員の確保について～CIVIC PRIDE 自分たちの街への愛着と誇り～」と題する講演が行われました。

安達副会長は、令和2年度に消防協会副会長に就任され、近年は、日本消防協会の出前講座の講師や、消防団を応援するラジオ番組に出演するなど消防団の広報・啓発活動に積極的に取組まれており、市川市における消防団のキャッチフレーズの策定やプロモーションビデオの制作など先進的な入団促進の取組について紹介がされました。



安達消防協会副会長

講演後、吉野消防協会副会長の閉会の言葉で会議は終了しました。



第51回全国消防救助技術大会

～ 千葉県消防長会 ～

財団法人全国消防協会主催による第51回全国消防救助技術大会が8月25日(金)北海道札幌市において開催されました。

この大会には、全国9地区支部(722消防本部)から選抜された910名の隊員が出席し、陸上の部(基礎訓練2種目・連携訓練5種目・技術訓練)、水上の部(基礎訓練2種目・連携訓練5種目・技術訓練)において、日頃の訓練成果を競い合いました。

本県からは、陸上の部7種目に7消防本部(局)36名、水上の部の2種目に1消防本部(局)3名の隊員が出席し、日頃の訓練成果を発揮しました。ご声援有難うございました。

陸上の部

☆ 基礎訓練



◎はしご登はん(1名)
・印西地区消防組合消防本部(入賞)
消防士長 成嶋 雄太



◎ロープブリッジ渡過(1名)
・鎌ヶ谷市消防本部(入賞)
消防士長 澁谷 泰介

☆ 連携訓練



◎ロープブリッジ救出(1チーム:4名)
・千葉市消防局(入賞)
消防士長 宮川 成人
消防士長 永塚 蘭斗
消防士 中田 知明
消防士 狩野 誠也



◎ロープ応用登はん(1チーム:2名)
・印西地区消防組合消防本部(入賞)
消防士長 倉林 佑多
消防士長 濱川 雄大

◎引揚救助 (4チーム:20名)



・市川市消防局(入賞)
消防司令補 廣田 俊朗
消防司令補 田中 道智
消防士長 村山 孝文
消防士 篠塚 駿
消防士 倉元 聡



・成田市消防本部(入賞)
消防司令補 久保木 慎也
消防士長 椿 拓真
消防士長 矢橋 政彦
消防副士長 菅澤 諒介
消防副士長 菅澤 宙



・山武郡市広域行政組合消防本部
 消防士長 林 航平
 消防士長 齊藤 正剛
 消防副士長 麻生 和輝
 消防士 大柴 悠人
 消防士 栗原 蒼汰



・浦安市消防本部 (入賞)
 消防士長 金林 正人
 消防士長 大塚 純也
 消防士長 小西 雄真
 消防副士長 金木 大
 消防士 寺鍛冶 工



◎ほふく救出 (1チーム: 3名)
 ・成田市消防本部 (入賞)
 消防司令補 安藤 達朗
 消防士長 平久保 新悟
 消防副士長 鈴木 暁斗



◎障害突破 (1チーム: 5名)
 ・成田市消防本部 (入賞)
 消防司令補 村松 博文
 消防士長 大森 脩登
 消防士長 布留川 拓耶
 消防士長 小林 史和
 消防士長 菅澤 周太

水上の部

☆ 基礎訓練



◎複合検索 (1名)
 ・市川市消防局 (入賞)
 消防士 篠原 優太

☆ 連携訓練



◎水中結索 (1チーム: 3名)
 ・市川市消防局 (入賞)
 消防士長 小林 翔易
 消防士長 安井 徳弘
 消防士 篠原 優太

今後も、県下消防は関係機関と一致結束を図り、市民の安全・安心に向け尽力して参りますので、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

令和5年度「防火・防災ポスター展」表彰式

千葉県・(公財)千葉県消防協会・千葉県少年女性防火委員会

県下の小学生と中学生に制作過程を通じて防火・防災への関心と理解を深めてもらうとともに優れた作品を紹介することによって県民の防火・防災思想の普及啓発を図ることを目的として千葉県、(公財)千葉県消防協会及び千葉県少年女性防火委員会の主催により、県下の小中学校の児童・生徒から募集した防火・防災に関するポスター展の表彰式が8月22日(火)千葉県庁本庁舎5階大会議室において受賞者、受賞者の保護者等の臨席のもと開催されました。

本年度は、県内27の小・中学校から1,484の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、最優秀賞には、小学校低学年の部で我孫子市立我孫子第二小学校3年小針彩瑛さん、小学校高学年の部で東金市立正気小学校4年高橋叶空さん、中学生の部で習志野市立第一中学校2年寺田愛結さんが受賞され、優秀賞に流山市立鱒ヶ崎小学校2年酒井徳慎さんの作品外5点、千葉県消防協会長賞には流山市立鱒ヶ崎小学校1年安部心結さんの作品外5点、千葉県少年女性防火委員会長賞には茂原市立茂原小学校2年吉野真ひるさんの作品外5点が選ばれ、それぞれ表彰を受けました。



穴澤千葉県副知事



石橋千葉県消防協会長



受賞作品

◆知事表彰

☆最優秀賞



我孫子市立我孫子第二小学校 3年
小針 彩瑛



東金市立正気小学校 4年
高橋 叶空



習志野市立第一中学校 2年
寺田 愛結

☆優秀賞



流山市立緒ヶ崎小学校 2年
酒井 徳慎



茂原市立茂原小学校 3年
鈴木 晟史



横芝光町立横芝小学校 4年
高田 緋菜



東金市立東小学校 5年
村田 一樹



習志野市立第一中学校 3年
片岡 柚葵



習志野市立第一中学校 3年
川村 奈央

◆ (公財) 千葉県消防協会長賞



流山市立鯉ヶ崎小学校 1年
安部 心結



我孫子市立我孫子第二小学校 3年
吉川 葉奈



野田市立南部小学校 5年
中田 歩花



習志野市立津田沼小学校 5年
安井 絢



習志野市立第四中学校 2年
加藤 凜花



習志野市立第一中学校 2年
織戸 華代

◆ 千葉県少年女性防火委員会長賞



茂原市立茂原小学校 2年
吉野 真ひる



野田市立岩木小学校 3年
羽田 雫玖



東金市立東小学校 5年
森 唯斗



野田市立南部小学校 6年
堀井 佳奈実



習志野市立第一中学校 2年
白石 莉菜



習志野市立第一中学校 3年
筑波 春陽

わが町の消防団 ① 鴨川市消防団

鴨川市は、千葉県房総半島南東部、太平洋側に位置する市です。

温暖な気候に恵まれ、首都圏近郊にありながら美しい風景や豊かな緑に包まれています。

市の面積は191.14km²で、内陸部には、米どころの長狭平野に田畑が広がり、山間部には、「日本の棚田百選」に選定された「大山千枚田」など、美しい田園風景が広がっています。

また、海岸線には、「日本の渚百選」に選定されている「前原・横渚海岸」があり、ゆるやかな美しい弧を描いた海岸沿いには、植栽されたヤシの木が並び、南国ムードを醸しだしています。

その他、市内にはシャチやイルカのパフォーマンスなど海の世界を展示する「鴨川シーワールド」、日蓮聖人ゆかりの「誕生寺」や「清澄寺」、「鯛の浦」のほか、「仁右衛門島」など多くの観光スポットや、高度な医療機能を有する大規模な民間病院をはじめ多くの医療機関等が立地しており、充実した医療・介護環境を有しています。

鴨川市消防団は、令和5年4月1日現在、川崎浩之団長以下589名（1本部、女性消防隊、4つの支団（25分団））の団員で組織され、「自分たちの地域は自分たちで守る。」という、使命感のもと火災や風水害などの災害時における活動や、平常時には、水利、資機材の点検、消防ポンプ操法や中継技術の取得を目的とした訓練、幹部・新入団員訓練、救命講習、安全講習などを行っています。

また、市主催による防災訓練や地域が主催する防災訓練への参加、火災予防の防火パレード、冬季における夜警など、地域に密着した活動を行っています。

本市消防団は、女性団員も在籍し、女性消防隊として火災予防の広報活動や啓発活動を行うなど、精力的な活動を行っています。



消防団は、地域の事情に精通しており、地域防災力の要と言われていますが、近年全国的に消防団員数が減少傾向にある中、本市消防団も例外ではなく、少子高齢化や就業形態の変化によるサラリーマンの増加や、地域連帯意識の希薄化等によって、消防団員数の減少や団員の高齢化が年々進んでおり、活動力の低下が懸念されています。

本市消防団では、現在置かれている課題と向き合い、活力ある消防団員の確保を図っていくとともに、社会環境の変化や消防団の現状を踏まえ、時代に即した体制や役割を考えていくため、昨年度に全分団及び女性消防隊へのヒアリング調査を実施したところです。

今後は、社会情勢の変遷に正面から向き合い、課題の克服に取り組むとともに、関係団体との一層の連携に努めながら多様化する消防団活動の活性化を図り、市民の皆様から信頼され、頼りにされる消防団となるべく、今後も団員が一丸となって活動して参ります。



わが町の消防団 ② 香取広域市町村圏事務組合東庄町消防団

東庄町は、東京都から約80km圏、成田市から約30km圏、千葉県北東部に位置し、東は銚子市、西は香取市、南は旭市、北は利根川を隔てて茨城県神栖市に接しています。

総面積は46.25km²で、地形は東西に約9km、南北に約10.5kmの台形状をなし、温暖な気候であり平均気温は16度で冬の間は東京より2～3度暖かく、夏は逆に涼しい町です。

町の中央は北総台地の一角をなしており、北部・南部に傾斜し低地は水田に利用され、台地上部の平地は畑作に利用されています。集落は、笹川地区が国道356号沿いに街区を形成しているほか、それぞれの地区は集落形態で分布しています。

東庄町の誕生は昭和30年7月20日に笹川町、神代村、東城村、橋村の1町3村が合併し「東庄町」となり、町名は昔この地域が東氏(とうし)の荘園であったことが由来です。

この地域を管轄する東庄町消防団は、岩瀬団長以下227名の団員で、団本部を中心に4分団21部で編成し、消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車19台で組織されています。



この地域を管轄する東庄町消防団は、岩瀬団長以下227名の団員で、団本部を中心に4分団21部で編成し、消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車19台で組織されています。新型コロナウイルス感染症の影響により中止、又は規模縮小を余儀なくされた消防団行事も今年度からは通常開催できると思われます。年度初めには春季消防訓練を実施し、全団員を対象に消防の基本である規律訓練や資機材の取扱い訓練が出来ました。消防団員としての心構えと安全管理の徹底を図るなど規律の保持に努めています。夏以降にかけては、近年甚大な被害をもたらしている地震や台風、集中豪雨等に備え、町及び消防関係機関等と

合同の防災演習を予定し、自衛意識の徹底、防災行動力の向上と防災意識の高揚を図ります。さらに、秋季消防訓練を計画しており、中継送水など実戦的訓練を実施し、更なる団員の技術向上と器具愛護精神、機械技術の知識向上を図りながら火災期に備えて万全を期しています。また、団員が普通救命講習を受講することにより、バイスタンダーとしての重要性を認識し、更なる救命率の向上を図っております。

地域に密着した消防団として、各イベントの参加や火災予防運動期間中の防火広報活動を通じて町民等へ防災意識の普及啓発に努めています。この他に、毎月の機庫点検やポンプ点検等を実施するとともに、災害発生時の対応へ向けて日々訓練に励んでいます。

今後も、東庄町消防団員としての誇りを持ち、地域と密接な活動を展開し必要不可欠な組織として、多様化する災害に対して関係機関との協力体制を図り、我が町の安心を守るために活動して参りたいと思います。



東 西 南 北

東 西 南 北 女性消防吏員活躍推進モデル事業 地元高等学校とポスターを共同制作

佐倉市八街市酒々井町消防組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合は、総務省消防庁から「令和4年度消防本部における女性消防吏員活躍推進モデル事業」の委託を受け、消防組合管内にある学校法人千葉黎明学園千葉黎明高等学校（八街市）美術部、書道部とポスターを共同制作しました。モデルは消防組合初となる女性救助隊員を起用し、美術部がイラストを描き、書道部が題字「さくら女子」を書き下ろしました。このポスター等で消防吏員になりたい人を増やすとともに、共同制作をきっかけに、今後も地元高校生との交流を続けていけたらと思います。



東 西 南 北 発達障害への理解と対応でハラスメントを防ぐ！ 佐倉市八街市酒々井町消防組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合は、大人の発達障害が社会的な関心が高まっていることから、2月28日淑徳大学総合福祉学部教育福祉学科教授 松浦俊弥氏を講師に迎え、「発達障害への理解と対応」について研修会を実施しました。

発達障害が疑われる職員が職場で起こす典型的な行動の事例等、発達障害の人に適する業務と適しない業務などを学び、発達障害について正しく理解することができました。

今後も発達障害が原因となるハラスメントが発生しないよう、組織力向上を図っていきます。



東 西 南 北 若手職員を対象とした研修を実施 柏市消防局

柏市消防局西部消防署では、3月8日、三井不動産株式会社の協力のもと、同社グループの研修施設である「三井不動産総合技術アカデミー」にて若手職員を対象とした研修を実施しました。

当日は、実際に火を焚いて中性帯を作り出す施設を活用し、濃煙内における視界範囲の確認や、高さによる温度の違い、消火の際には専用のスプリンクラー設備を起動させることで、その消火性能を体感することができました。

また、三井不動産防災センターにおいて、自動火災報知設備が起動したときから避難・誘導までの活動手順や、消防隊が到着したときの引継ぎ手順、非常時と通常時によるエレベーターの作動要領の違いなどについて説明を受け、消防と防災センターの円滑かつ効果的な消火、救助活動について、検証と検討を行うことができました。

その他、防火戸・防火ダンパー等の防火設備、窒素ガス消火設備などの操作方法を、実物に触れながら活動要領を学び、考察することができました。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和5年 10月・11月

10月21日 第25回全国女性消防操法大会(東京臨海防災公園)

11月2日 第59回消防殉職者慰霊祭(千葉県消防学校)

16日 第28回全国女性消防団員活性化石川大会(金沢市)

25・26日 消防団員指導員研修(千葉県消防学校)



2023年度 全国統一防火標語
「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

令和5年 秋の全国交通安全運動

9月21日(木) から9月30日(土) までの10日間

交通事故死ゼロを目指す日 9月30日(土)

スローガン

～反射材「ここにいるよ!」の メッセージ～

<表紙の説明>

久留里城(君津市) 君津支部

「城の完成後、3日に1度、21回雨が降った」ともいわれることから、別名「雨城」とも呼ばれます。戦国時代には里見氏が拠点にし、江戸時代には土屋氏、黒田氏等の居城となった場所です。

本丸跡には天守閣が建てられ、二の丸跡にある「久留里城跡資料館」では、城の歴史を始め、「雨城楊枝」や「上総掘り用具」など、郷土の民俗に関する資料を紹介しています。

